

## 令和5年、第1回退院調整担当者会 議事録

日時: 令和5年6月7日

13時30分～14時30分

場所: 豊川市民病院講堂

1. 出欠確認: 出席者23名(欠席者1名: 梶田・代理出席1名)

2. はじめに

司会) 小林

会長挨拶: 皆さん、こんにちは、定刻になりましたので第1回退院調整担当者会を始めたいと思います。

会長選考は皆さんの推薦によることになっています。改めてお聞きしますが、私で大丈夫でしょうか(承認)

副会長2人は今、私が選びましたので、宜しくお願いします。

司会: 久しぶりにオンラインなしで集まることが出来て良かったなと思います。梶田さんは欠席ですが、武藤さんは代理で松井さんに出席して頂いています。(参加者多数で、会は成立)

先週、金曜日の豪雨について、後で報告して貰う予定ではありますが、木佐貫さんどうでしたか?

木佐貫: 現在、診療は開始しています。周辺の医療機関の方に影響があると思いますが、皆さんありがとうございます。

3. メンバー紹介(名簿参照)

小林: タチバナ病院、放射線技師をしております。皆さんの支援を受けて会長をさせて頂いています。

田口: パトリの田口です。施設部会の会長で、この会の副会長を3年やらせて頂いています。皆さんの意見を出して貰って、会を運営して行きますので、宜しくお願いします。うちは東三河で一番入居金が高いのが売りだと思ってやっています。

中村: この会には最初から関わらせて頂いています。今日はリアルで久しぶりに皆さんとお会いしましたが、最初の頃より雰囲気は良くなったなと思います。研修会も昨年から違う分野に視野を広げているので、良いと思います。この場で培った力を地域に還元できるようにして行きたいと思いますので、宜しくお願いします。

今年も研修会はハイブリッドで行いますので、主に裏方でやって行きたいと思います。

小山: 私は今年で2年目になります。昨年从这个会に参加するようになって、中からの自院だけでなく、外から自院を見る機会となっています。

福尾: この会には、長い事お世話になっています。途中、抜けましたが、ここで顔を合わせて話をさせて頂くことで連携が容易に出来るようになっていきます。

三浦: 入退院でお世話になっています。この会で連携の仕方を学ばせて頂いています。

林: この会に参加して3年目になりますが、私自身は、まだ、何も協力出来ていないと感じています。

星野: 外来看護師ですが、入退院調整を担当しています。この会で皆さんと対面することで、普段も気楽に連絡を取らせて頂いています。

椎名: 豊川青山病院は介護医療院を併設しており、レスパイトなどの短期入院も受け入れています。

大谷: 当院では、4月から消化器外来を週3回行い、患者の受け入れをしています。まだ、慣れない状況で

すが、この会では皆さんと交流しながらやって行きたいと思います。

小林美:この会には昨年から出席していますが、昨年度は皆さんに圧倒された1年でした。今年は少しでも役に立てるようにしたいと思います。

木佐貫:回復期リハの担当をしています。当院は自然の力に負けて先日の豪雨で水没してしまいました。病院は容易に移転出来ないで、今の環境でどのくらい防ぐことができるかが課題です。

中根:この会には、初めて参加しますが、医療関係、施設関係の方と交流できるのを楽しみにしています。

当施設は古くて、従来型なので入居費用は安い施設となっています。経済的に困る方も入居が可能なので、今の施設を無くさないようにしたいと思います。

平岩:居宅から参加させて頂いています。ケアマネを15~16年やっていますが、施設の中では最年少の立場です。居宅部会の役職も初めてなので、大変だと聞いていますが何とかやって行きたいと思います。

鈴木:東部包括支援センターから参加させて頂きます。担当する方の関係者との交流はありますが地域が違うとそれも無いのでこの会をご縁に皆さんと交流し、多くのことを学んで行きたいと思います。

加藤:訪問看護・リハビリ部会から参加します。今迄、この会に理学療法士は参加していなかったのではないかと思います。いろんなステージで顔を出すようになって、皆さんと交流できるのを楽しみにしています。

伊藤:当訪問看護ステーションは豊川さくら病院と共に移転しました。

この会は2年目になります。去年は積極的に協力出来なかったで、今年は頑張りたいと思います。

志田:退院調整担当者会との関係は長く、今年も部会長からの任命で参加しています。医療・介護連携の会としては重要で、ケアマネも立場上、重要な立ち位置にあると思っています。今年も1年頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。

松井(武藤代理)社会福祉協議会の中にある基幹センターから来ています。市内に20か所ある障害者支援センターの基幹となっている所です。昨年からの会に障害分野も参加させて頂き、ありがとうございます。

牧野:そもそもは病院の枠で参加しましたが、重症心身障害者の方の入所・通所の施設です。障害の相談支援専門員をやっています。ここの場は知らないことを学べる所になっています。

前田:今年から初めて参加させて頂きます。病棟師長で転院の患者さんなどは連携を取らせて頂いています。今はこの会で何をやるのかなと聞いていました。

服部:この会には患者サポートセンターが出来る前の在宅支援課の時に参加させて頂いていました。

先日、過去の活動資料を見させて頂きましたが、実践に近い内容をされていて、研修を研修で終わらせない内容になっているなと思いました。患者サポートセンターについては困ることがあれば、何でも相談して頂き、市民の求める視野に近い支援が出来たらと考えています。

司会:資料の3枚目の活動概要を参照して下さい。

田口:初めてこの会に参加される方の為に概要がまとめてあります。講演会は主に役員で行いますが、研修会は皆さんの意見を基に作り上げていく形を取っています。希望を優先してグループ分けを行い、月に1度ペースで集まり、意見交換を行いながら、進めて行きます。

司会:市内で困った人がいたら、皆さんの顔が浮かんでくる関係、もうすでに出来上がっていますが、そこを強化していきたいと思います。

## 1) 検討事項

- ① 今年度の活動計画について(資料参照)

司会:担当をこの場で決めるべきでしょうが、電子@連絡帳上で決めて行きたいと思います。

② 今年度の活動目標について(資料参照)

司会:平時から連携の仕組みが出来る。皆さんの活動をもっと知って頂きたいと思っています。

2) 情報交換

① 空床報告について…継続

・市民病院がゼロの場合はそれを知って頂くだけでも良い。頑張ろうと思って下さる病院もある。

② パンフレットについて…継続して見直しを行う方向

・災害にも繋がっていて、BCP・電源の確保や個別支援計画など、今回の大雨で自分事になった人も多い。

・行政は一般向けに説明会を予定されている。

③ 大雨による被害について

木佐貫:当初、病院にいなかったので、後に聞いた話を含めて情報提供します。

周辺道路を含め、駐車場は一部冠水すると思っていたが、今回のこのような状況までは想定していなかった。院内は足首まで冠水し、サーバーがダメになった。電気はあったので、近くで車が立ち往生した方にも来てもらい、保存食を分け与えた。在院していた職員で対応をしたが疲弊し、車も水没したので仕事に集中できないと話している方もいた。院外にいた職員は水が引くまで病院に行くことが出来ない状態だった。水が引いたとの連絡で病院へ行った時は夕方だった。汚水の為、臭くて前の状態に戻すのに大変で時間を要した。水が院内に入って来たのは夜中だが、定時で帰る時も腰まで水に浸かって無理して帰った人もいる。反対に足元が見えず、危険なので諦めて病院に戻った人もいたと聞いている。

中村:(質問)周りで立ち往生された方も受け入れを行ったと聞いていますが、災害時、備蓄品の配布など事前に決めていたのでしょうか

木佐貫:それはないです。

司会:他は影響なかったですか?たんぽぽは浸水したと聞いているが、

伊藤:たんぽぽはひざ下まで水が来たと聞いていますが状況まではわかりません。さくら病院の周辺道路は冠水しましたが、病院自体は少し高いので問題はなかったです。

※総合青山病院の看護部長より情報提供

周囲の道路はこれまでも冠水することがあったが、駐車スペース全てと院内迄、冠水したことはなく、想定外の状況となった。気にはなっているが病院にいけないことがもどかしく感じたが、残った職員で対応してくれた。(医師は病棟担当を自ら決めて対応してくれた。)

電車も止まっていたので、帰宅できなかった上層部が多く在院していた為、上層部の判断で臨機応変な対応が出来た。

翌日には清掃業者が来院したので、医師も含め、職員が協力して清掃を行った。

当日もエレベーターが動いていたので運べるものは出来るだけ、上層階に運んだ。

透析患者の移動や食事の運搬は階段を使い、リハビリ職員などの協力を得て対応した。

小山:今回はサーバーがダウンしているが、どのように対応したのか、

木佐貫:詳細はわからないが、復帰後の書き初めに「何時から使用できるようになった」と全例、記載されていた。

小山: 自然災害・人的災害・サイバー攻撃などその場その場でやって行くとは思いますが、いろんな状況があるので、考えてしまう。入院と外来も違うと思うし、トリアージタグ等も小さな病院でも必要なのかと考える

司会: コロナ感染症が5類となったが対応はどうか

加藤: 地域の活動に参加することは増えてきたが、地域と施設内の動きとは違ってギャップが大きいと感じている。

伊藤: 意識の問題。ポツポツ陽性の方は出ているが前ほど大騒ぎにならない。対策は継続している。

志田: 一人ケアマネはBCPに悩んでいる。明確になっている所は相談できるけど、見えない部分で悩んでいる。

田口: 当施設は以前から居室の面会や家族との外出は月に2回はOKとしているので、5類になったからと言って特別変えたことはない。

司会: インフルエンザも多くなってきている。感染対策は気を付けなくてはならない。地域の為に皆さんの力を出して頂ければと考えている。

その他

服部: 7月7日14時～15時 市政80周年の記念講演(武藤先生)を予定しています。

中村: (別紙参照)6月18日(日)に開催予定の研修会のご案内です。

4. おわりに

担当などの希望やご意見は電子@連絡帳でお願いします。

文責: 在宅医療サポートセンター 柳生